

第4期酒田市地域福祉活動計画 評価票



社会福祉法人

酒田市社会福祉協議会

第4期酒田市地域福祉活動計画 評価票 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

学区・地区社協の活動を充実・強化します	【これまでに実施した取組み】 ・新型コロナウイルス感染対応として、各学区・地区社協からの相談に応じ、他学区・地区での対応事例の情報提供などを行いました。 ・令和4年度より市社協会報「ふれあい」で学区・地区社協の活動を紹介する『おらほのまちの学区・地区社協活動』の連載を開始、各学区・地区内での活動をわかりやすく伝えるための情報発信を継続しています。 ・令和5年度、学区・地区社協活動を支援する学区・地区担当は、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)として、5名を配置(令和6年度からさらに1名増、令和7年度からはさらに1名増、現在は7名配置)し、支援体制を充実しました。 ・令和5年度、福祉協力員研修の充実を図るため、中央共同募金会の助成事業を活用し、見守り事業の手引きを作成するとともに、地域での孤立を防ぎ、高齢者に限らない幅広い世代を対象とする見守りを目指した研修会を開催しました。令和7年度は、孤独・孤立に関する知識を学ぶ「つながりサポーター養成講座」を含む研修会を開催しました。 ・市社協職員の地域共創コーディネーターなど各種研修受講によるスキルアップに努めています。	A
新・草の根事業を見直します	【これまでに実施した取組み】 ・新・草の根事業や財政支援(新・草の根事業補助金)の見直しとして、物価高騰を踏まえ、ふれあい給食事業の補助単価について検討を加え、令和6年度からは一食 400 円から 500 円、補食給食を 100 円から 150 円へ引き上げました。物価高騰が続く状況を踏まえ、令和7年度、令和8年度と引き上げを継続し、現在は一食 650 円、補食給食 200 円としています。 【課題】 ・地域住民の自主的な思いや気づきに柔軟に対応することができるような事業の改善と開発には至っていません。 ・対象を高齢者に限定しない世代や属性を超えた事業メニュー・内容への改善と開発には至っていません。	C
地域での課題解決に向けた話し合いの場づくりに協力します	【これまでに実施した取組み】 ・市まちづくり推進課が進める地域計画(ビジョン)の策定会議に市社協のCSWが参加し、ワークショップや研修会等の開催に協力、支援しました。 ・住民主体の生活支援「よろずや琢成」などの先進事例の紹介や情報共有を行いました。 ・酒田市が設置する酒田市生活支援体制整備協議会に委員として参画し、高齢者等のごみ出しが困難な方への支援、宅配弁当困難地域の課題整理、ケアマネジャーの困りごと把握と課題整理など、関連する諸制度についての研修や課題の洗い出しを行いました。	A

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

ボランティア活動・公益活動を促進します	【これまでに実施した取組み】 ・酒田市ボランティア・公益活動センターによる活動に関する相談、情報提供、活動団体の育成、コーディネートを継続しています。 ・ボランティア・公益活動を活性化するため、NPO法人与共催で相談会や講座などを実施しました。 ・夏のボランティア体験などによる活動のきっかけづくりを継続しています。 ・東北公益文科大学で開講している地域共創コーディネーター養成講座と一体的に企画されている「ボランティアコーディネーション力3級検定」研修を開催し、ボランティア・公益活動を担う人材を育成しました。 ・ボランティア活動、公益活動、市社協の事業活動等に従事する際のリスク対応のため、ボランティア活動保険への加入推進に努めています。 ・福祉の担い手育成事業（高齢者疑似体験事業）や日和山桜祭りでの車いす貸出など市社協事業でのボランティアの積極的な受入を行いました。	A
赤い羽根共同募金運動を促進します	【これまでに実施した取組み】 ・広く運動の理解を得るよう会報やチラシなどで募金寄付者への説明、成果報告等を行いました。 ・助成団体支援の充実の一環として、地域の福祉活動、ボランティアや公益活動により効果的に活用できるよう、令和6年度の配分助成より、年度初め（4月）から配分が受けられるように見直しを行いました。 ・新たに活動を始めた子ども食堂など新規助成先を開拓しました。 【課題】 ・助成基準（要綱）の策定とそれに基づく助成実施には至っていません。	B

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

見守りネットワーク支援事業による見守り活動を見直します	【これまでに実施した取組み】 ・[再掲]令和5年度、福祉協力員研修の充実を図るため、中央共同募金会の助成事業を活用し、見守り事業の手引きを作成するとともに、地域での孤立を防ぎ、高齢者に限らない幅広い世代を対象とする見守りを目指した研修会を開催しました。 ・地域での福祉協力員の確保、役割の理解を進めるため、地区担当が学区・地区社協の合同研修会などに出席し、活動を支援しました。 ・令和5年度、市が行っている災害時要援護者支援の台帳整備と市社協が行っている見守りネットワーク支援事業の関係整理や個別避難計画策定に伴う様式の変更について協議を行い、令和8年度より、市が改訂した「個別避難計画」と見守りネットワーク支援台帳の統一運用を開始することとしました。	A
市内の災害時、復旧支援に向けた体制を強化します	【これまでに実施した取組み】 ・災害ボランティアセンターの設置場所や財政負担など役割分担を明確にした「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を市と令和5年11月に締結しました。 ・災害VC設置・運営訓練を、ライオンズクラブ、青年会議所などの協定を結んでいる団体と実施し、有機的な連携の構築を行いました。 ・日赤県支部による講習会開催や自治会等の災害訓練、避難所訓練に対し、資機材を貸出するなどの取り組みを通して、赤十字活動の普及啓発を行いました。 ・令和6年7月豪雨での市内の災害発生に際して、酒田市災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアなどの協力を得て、災害復旧を進めました。 ・令和6年7月の大雨災害により被災された方への再建相談、生活支援相談を行う被災者生活支援・地域支え合いセンターの運営を市から受託しました。被災者の戸別訪問、集いの場「ふるさとカフェ」開催を継続しています。	A
他地域の災害時、復旧・復興支援に協力します	【これまでに実施した取組み】 ・令和4年8月置賜豪雨災害では川西町災害VC、令和5年9月豪雨災害では秋田市災害VC、令和6年能登半島地震では志賀町災害VCに市社協職員を派遣しました。 ・被災地での支援活動を希望する個人、団体に対し、川西町、秋田市、仙北市へボランティアバスを運行するなどの支援や情報提供を行いました。 ・東日本大震災で本市に避難された方の相談員の訪問活動等を通して、避難者の生活課題を把握するための聞き取りや情報紙による情報提供などを継続しました。	A

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

社協内の相談支援部門間、市内外の支援関係機関との連携を強化します	【これまでに実施した取組み】 ・関係機関、団体と支援調整会議を開催するなど、連携・協働して、相談の対応や支援を実施しました。 ・市が今後、実施を目指している重層的支援体制整備事業の準備・試行として実施される多機関協働事業(令和5年度より)、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(令和6年度より)、参加支援事業(令和8年度より)を市から受託し、包括的な支援体制整備に向けた体制づくりに参画しました。 ・地域包括支援センターにいだ、居宅介護支援事業所にて飛島での相談支援を継続しました。	A
地域での子どもの居場所づくりに協力します	【これまでに実施した取組み】 ・市内企業による寄付金を原資とし、地域子育て応援団など子どもの居場所づくりを実施している団体に対し、運営費などの経費の一部を助成し、地域で子どもを見守り育てる環境づくりを支援しました。 ・子ども食堂、子育て応援団活動に関する情報提供、相談を受けるとともに、共同募金による配分助成申請の支援を行いました。	A

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

生活困難を課題とする方の支援を充実・強化します	【これまでに実施した取組み】 ・生活自立支援センターによる相談支援や生活福祉資金の受付による経済的に生活に困っている方の相談支援を行いました。 ・コロナ禍に実施された特例貸付を利用した方への相談支援を行うフォローアップ支援員を新たに置くなど人員体制強化を行いました。 ・研修などでの自立相談支援事業の説明、チラシ配布などを行い、必要な方へ情報が届くよう周知を継続しています。 ・たすけあい資金貸付やフードバンク事業による窮迫した生活困窮者への緊急的な生活支援を継続しています。 ・すぐに職に就くことが難しい方の社会参加、就労体験の場づくりとして、市の就労準備支援事業を収入要件等により利用ができない方のために、事業実施事業所と本会との独自契約により制度の利用を支援しました(市が収入要件に限らず、市事業利用を認める方針としたため、令和6年度で終了)。	A
歳末たすけあいの募金方法、助成支援を見直します	【これまでに実施した取組み】 ・[再掲]広く運動の理解を得るよう会報やチラシなどで募金寄付者への説明、成果報告等を行いました。 ・令和5年度より、共同募金運営委員会の議論を経て、旧1市3町で金額が別々だった歳末たすけあい募金の戸別募金額と歳末激励金の基準額を全市統一、助成する激励金額も統一しました。 【課題】 ・チャリティバザー(令和4年度、令和5年度)の実施など試行的に実施しましたが、募金活動方法の見直しには至っていません。	B
障がい者の社会参加に協力します	【これまでに実施した取組み】 ・障がい者の社会参加の促進を行う活動について理解いただくため、県が実施する「山形県ふれあいパートナーシップ企業登録制度」に法人として登録しました。 ・障害福祉サービス事業所が手作りのお弁当やお菓子を販売する「満福市にいだ」(会場:地域福祉センター)、小規模作業所の商品販売会「満福市」(会場:松山農村改善センター)、小規模作業所やコミ振の出店による「満福市＋(プラス)」(会場:八幡タウンセンター)を開催し、各団体の活動支援を行いました。 ・ボラポートさかたで受託している手話奉仕員育成事業や障がい者アート展、市社協等で実施している障がい児・者に対する居宅介護事業所の同行援護事業等を通して、障がい者の社会参加の促進に協力しています。	A

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

罪を犯した方等の立ち直りに協力します	【これまでに実施した取組み】 ・再犯防止のため、様々な課題を支援する保健、消費生活、司法、更生保護などの関係機関や団体が主催する相談会・研修会などについて、情報提供に協力しました。また、再犯防止に関する会議等への参加を通して、これらの機関・団体との連携を強化しました。 ・罪を犯した方等の出所後などの社会復帰に向けて、手紙や面談等により本人意思を確認しながら関係機関と連携し、生活自立支援センターによる相談などを通して支援しました。 ・地域の立ち直りの理解を進めるため、「社会を明るくする運動」をはじめとする更生保護関係団体の更生支援活動の普及啓発に協力しています。 【課題】 ・「罪を犯した方等の出所後などの地域の見守りのあり方についての対応検討」には至っていません。	B
---------------------------	---	----------

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

権利を護るための制度や事業を普及し、支援を充実します	【これまでに実施した取組み】 ・令和4年度、地域住民向け「相続・遺言」「人生会議ノート」をテーマにした研修会を開催しました。 ・福祉サービス利用援助事業や成年後見制度の周知のため、学区・地区社協などに対し、ふくし出前講座を通じた説明を行いました。 ・関係機関（弁護士、司法書士、社会福祉士等）と成年後見制度についての意見交換会に参加するとともに、成年後見支援センターの市社協受託に向けて市と協議を進め、令和7年10月より「酒田市権利擁護・成年後見センター」を開設しました。 ・市「高齢者及び障がい者虐待防止協議会」への参加や虐待防止の普及啓発に協力しています。 【課題】 ・担当職員（他業務との兼務）を増員するなど、人員体制の整備に努めていますが、福祉サービス利用援助事業利用者、法人後見事業での受任件数とも増加傾向のため、法人後見事業での新規受任が難しい場合があります。 ・死後の手続き（死後事務）など課題に対応する死後事務委任、生前契約、任意後見など支援事業の検討には至っていません。（令和8年の社会福祉法改正により、死後事務などの制度化が決定、動向把握に努めています。）	B
-----------------------------------	--	----------

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

学校や地域での福祉教育を推進します	【これまでに実施した取組み】 ・令和4年度より、福祉の担い手育成事業では、従前からの高齢者疑似体験に加え、当事者との関わりから学ぶ福祉教育プログラムとして、聴覚障がい者との交流体験学習を開始しました。 ・ふくし出前講座や新・草の根事業の合同研修事業などを通して、地域住民向け福祉教育を実施しました。 ・令和4年度以降、福祉教育推進員研修に職員6名が参加し、福祉教育に資する知識、技能の向上を図りました。 ・「障がいを理由とした差別の禁止」「障がいの特性に応じた配慮」「コロナ差別の防止」など心のバリアフリーを進める活動の普及啓発に協力しています。 【課題】 ・大学生や高校生をその対象の重点に置いた福祉教育プログラムの開発には至っていません。	B
地域と社会福祉法人などとの連携を推進します	【これまでに実施した取組み】 ・「地域における公益的な取組」に関する情報交換や連携した取り組みについて協議する「酒田市社会福祉法人連絡会議」を開催し、出前講座の継続実施やメニュー内容等について、法人間で確認しました。 ・地域住民などから申込を受け、学区・地区社協や自治会の会合、研修等に各法人職員を講師として派遣し、福祉に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」を実施しました。優良な取組として全国社会福祉協議会より表彰を受けました。 【課題】 ・市社協介護サービス事業所による地域の事業所理解を深めるふくし出前講座など地域貢献の実施には至っていません。	B

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

地域福祉活動の担い手を育成・発掘します	【これまでに実施した取組み】 ・[再掲]令和5年度、福祉協力員研修の充実を図るため、中央共同募金会の助成事業を活用し、見守り事業の手引きを作成するとともに、地域での孤立を防ぎ、高齢者に限らない幅広い世代を対象とする見守りを目指した研修会を開催しました。 ・[再掲]地域での福祉協力員の確保、役割の理解を進めるため、地区担当が学区・地区社協の合同研修会などに出席し、活動を支援しました。 ・市まちづくり推進課が進めている地域計画(ビジョン)の策定など地域づくりのための話し合いの場に地区担当職員(コミュニティソーシャルワーカー)が参加・協力し、その過程から活動の実践者やリーダーの発掘に努めました。 ・「おとこかれーくらぶ」では地域おこし協力隊と共に地域福祉活動として学童保育において世代間交流を行いました。 【課題】 ・様々な場面や役割、立場で見守り活動に協力いただける福祉協力員の募集には至っていません。 ・研修や講座による市、コミュニティ振興会・自治会、市内企業・民間事業者などとの協働による退職年代や現役世代の地域活動への参加のきっかけづくりの検討には至っていません。 ・民生委員・児童委員活動などの「やりがい」「よろこび」を伝える啓発活動への協力には至っていません。	B
福祉活動の意識向上、福祉人材の育成に協力します	【これまでに実施した取組み】 ・社協表彰式を開催し、地域福祉活動者などの長年の功績、協力を感謝の意を表しました。 ・社会福祉士を目指す大学生や看護学生の実習受入れを積極的に行い、将来の福祉人材の育成に努めました。 ・市社協職員の実習指導研修への受講などによる実習指導体制を強化しています。 ・県社会福祉協議会が実施する表彰へ地域福祉活動の積極的な推薦を行っています。 【課題】 ・見守り活動で貢献した方への感謝状贈呈実施には至っていません。	B

第4期酒田市地域福祉活動計画 中間評価 A:達成 B:概ね達成 C:一部達成 D:未着手

地域の居場所づくり、つながりの場づくりに協力します	【これまでに実施した取組み】 ・学区・地区社協による地域交流サロン事業をはじめとする居場所づくりの開設や運営の相談、情報提供を行うとともに、新・草の根事業補助金や赤い羽根共同募金の助成などによる財政支援を行いました。 ・[再掲]新型コロナウイルス感染対応として、各学区・地区社協からの相談に応じ、他学区・地区での対応事例の情報提供などを行いました。 【課題】 ・地域のニーズに沿った交流の場を目指した学区・地区社協による地域交流サロン事業の見直しには至っていません。 ・自殺防止のためのこころのサポーター養成への協力には至っていません。	C
----------------------------------	--	----------